

■施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	健康・保険
		基本方針	19. 市民の健康づくり
施策番号	10-01-①		
施策名	市民の健康づくり支援		

施策の概要

健康と生活習慣に関する啓発や健康相談の実施、食育、糖尿病対策、自殺対策の推進など、ライフステージに応じた市民の健康づくりを支援します。

成果指標(単位)	65歳以降、健康で自立した生活ができる期間を延ばす(年)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	19.57	19.64	19.71
実績値	19.6	19.64	19.85	未定

成果指標実績に対するコメント

前年度実績値(平成26年度～平成27年度)を0.21、目標値を0.07上回った。健康くさつ21に基づく事業を継続的に実施した結果であり、計画の基本理念である健康寿命の延伸につながった。

施策の達成度評価

「健康くさつ21(第2次)」において、「誰もが健康で長生きできるまち草津」、「第2次草津市食育推進計画」において、「ココロ豊かにカラダ元気に 食で育む笑顔があふれるまち草津」を基本理念に、関係団体等と連携し、くさつヘルスアッププロジェクト2016等の事業を進めることができた。
「草津市自殺対策行動計画」において、「かけがえない”いのち”を大切にする社会の実現」を基本目標に、市民一人一人が自殺予防のための行動ができるよう、関係機関等と連携しながら人材養成(ゲートキーパー)や普及啓発などの取り組みを進めることができた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

「健康くさつ21(第2次)」および「第3次草津市食育推進計画」に基づく事業を実施するとともに、平成28年度から導入した「健幸ポイント制度」については、評価・検討を行い実施する。
「草津市自殺対策行動計画」に基づく普及啓発、人材育成を行うとともに、自死遺族・自殺未遂者への支援等、関係機関との連携を図りながら、自殺予防事業を実施する。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

全市で健康づくりに取り組むため、健幸都市基本計画が策定され、健康に対する取り組みのきっかけとするため、健幸ポイント制度を導入した。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
健康づくり推進協議会事業	健康増進課	○	「健康くさつ21(第2次)」の取組について、協議結果をもとに事業展開することができた。
自殺対策緊急強化事業	健康増進課	○	自殺予防のための行動ができるよう、普及啓発や人材(ゲートキーパー)養成の取り組みを行った。
食育推進事業	健康増進課	○	関係団体と連携して「くさつヘルスアッププロジェクト2016」を実施し、第2次草津市食育推進計画の推進を図った。
健康教育事業	健康増進課 地域保健課	○	健康教育を実施し、健康について考えるきっかけづくりを行うことができた。
健康相談事業	健康増進課 地域保健課	○	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言を行うことができた。

健康啓発推進事業	健康増進課	○	市民の健康づくりのための運動や健康診査の受診に対して、インセンティブを設けることで、健康づくりの動機づけを誘導した。
----------	-------	---	--

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
保健師活動事業	健康増進課 地域保健課
精神保健福祉対策事業	地域保健課
献血推進事業	健康増進課
市民の健康づくり推進事業	健康増進課 地域保健課
健康管理システム事業	健康増進課 地域保健課
健康推進員活動事業	健康増進課
医療関係団体への保健事業事務委託事業	健康増進課
かかりつけ医等普及促進事業	健康増進課
さわやか保健センター施設管理事業	健康増進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	10-01-②	まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	健康・保険
		基本方針	19. 市民の健康づくり
施策名	疾病予防対策の強化		

施策の概要

各種健(検)診、予防接種について、情報提供・啓発・実施を行い、病気の予防と早期発見・対応に努めます。

成果指標(単位)	草津市子宮頸がん検診受診率(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		23.1	23.5	23.9
実績値	20.4	24.6	26.3	22.6

成果指標実績に対するコメント

若い世代への個別受診勧奨通知送付は前年度同様に実施したが、国の補助事業の内容に基づき、子宮頸がん無料クーポン券送付対象者を縮小したことにより、受診者が減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価

検診に応じた個別勧奨通知および協会けんぽ特定健康診査の場や商業施設での啓発等を行い、新規受診者の拡大を図ることができた。乳幼児健診の場で保護者に対して、乳がん自己触診法について個別に啓発を行い、がん早期発見方策についての周知を図ることができた。また、要精密検査者に対する精密検査受診勧奨の徹底と精度管理委員会や講習会による検診精度の向上を図った。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

平成29年度実施の子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券対象者拡大や個別通知対象者拡大の評価を行い、より効果的な検診啓発を検討し実施していく。また、協会けんぽ等他事業所と協力した検診啓発や検診の実施により、検診受診の動機づけを効果的に実施する。さらに、平成30年度には、胃内視鏡検査を導入し、新たな受診者の拡大やより予防効果の高い検診方法の検討・実施を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

国の補助事業にあわせて無料クーポン券対象者を限定したことで、該当がん検診の受診者が減少した。一方で、有名人が乳がんに罹患したことによる乳がん検診受診者の増加がみられた。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
予防接種事業	健康増進課	○	保育園・幼稚園・小学校・中学校への長期休暇前の勧奨通知の配布、就学時前健診時の接種履歴確認等により、接種率の向上に効果があった。
健康診査事業	健康増進課	○	胃・肺・子宮頸・乳がん検診個別勧奨通知の実施や協会けんぽとの協力により受診率向上を図った。
歯科保健指導事業	健康増進課	○	節目・妊婦歯科健診の実施で、口腔の健康づくりのきっかけづくりができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
感染症対策事業	健康増進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
分野	健康・保険
基本方針	19. 市民の健康づくり

施策番号	10-01-③
施策名	広域での地域医療体制の充実

施策の概要
 本市と湖南圏域の関係団体が連携・協力しながら、休日急病診療所の運営等、地域医療体制の充実を図ります。

成果指標(単位)	湖南広域休日急病診療所の年間診療日数(日)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		72	72	72
実績値	71	72	72	72

成果指標実績に対するコメント
 事業の目標値である、湖南広域休日急病診療所の診療日数(72日)を達成することができた。

施策の達成度評価
 平成26年4月13日に済生会滋賀県病院前に新築移転し、運営を湖南広域行政組合で行っているが、目標に掲げる診療日数の維持ができた。移転と同時に診療時間の延長や患者急増時に対応できるようオンコール体制を整備するなど、診療体制の充実と安定した運営に努めることができた。また、2次救急診療体制についても空白日なく維持できた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方
 今後も、湖南広域休日急病診療所の診療日数や2次救急医療の対応の維持を図るとともに、良質な医療を提供するために、医療体制の充実と安定した運営に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 湖南広域休日急病診療所の受診者数については、その年の季節性インフルエンザ等の流行により、時期的に前後するものの、診療所の認知が進み、開設以来継続して一定数の受診がある。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
湖南広域行政組合負担金事務	健康増進課	○	安定した地域医療サービスを提供することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
救急医療情報システム運営負担金事務	健康増進課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった
 ※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	10-02-①	まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	健康・保険
		基本方針	20. 医療保険制度の適正運用
施策名	国民健康保険制度の運用		

施策の概要

特定健康診査・特定保健指導の実施などによって医療費の適正化を図るとともに、被保険者への啓発活動など、制度への理解促進の取り組みを強めます。

成果指標(単位)	特定健診実施率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	45.0	50.0	55.0
実績値	37.2	38.0	36.7	37.8(H29.7月末時点)

成果指標実績に対するコメント

目標値を下回っているが、前年度実績値(36.7%)を1.1ポイント上回っている。

施策の達成度評価

特定健診無料化、未受診者への受診勧奨通知・電話、周知・啓発(広報、横断幕掲示、公用車へマグネット貼付、南草津駅およびイオンモールでのティッシュ配布等)を行い、7月末時点の暫定実施率では、前年度実績値より高くなっており、成果は表れている。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

全国健康保険協会滋賀支部(協会けんぽ)が実施する被扶養者向け健診と本市特定健診を共同で実施する。未受診者勧奨、周知・啓発に関しては、さらなる工夫を検討し、実施率向上を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
国保税賦課事務	税務課	○	国保の資格や前年度所得等に基づいて、国保税額の賦課を適正な執行に努めることができた。
レセプト管理事業	保険年金課	○	レセプトの適正管理に努め、過誤返戻や本人請求を適切に執行し、医療費の適正化を推進することができた。
特定健康診査事業	保険年金課	○	平成27年度実績値を平成28年度実績値(暫定)は上回っているが、目標値への到達までは至らなかった。

特定保健指導事業	健康増進課 地域保健課	○	平成28年度の実績値はまだ確定していないが、実施率は平成27年度を上回る見込みであり、積極的支援ではきめ細かい指導の徹底を図ることで、医療費の適正化を推進することができた。
----------	----------------	---	--

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
国民健康保険給付執行事務	保険年金課
医療費適正化特別対策事業	保険年金課
国保連合会負担金拠出事務	保険年金課
国保運営協議会運営事業	保険年金課
一般被保険者療養給付事業	保険年金課
退職被保険者等療養給付事業	保険年金課
一般被保険者等療養事業	保険年金課
退職被保険者等療養事業	保険年金課
審査支払手数料事務	保険年金課
一般被保険者高額療養事業	保険年金課
退職被保険者等高額療養事業	保険年金課
一般被保険者高額介護合算医療事業	保険年金課
葬祭給付事業	保険年金課
出産育児一時金事務	保険年金課
出産育児一時金支払手数料事務	保険年金課
老人保健医療費拠出金事業	保険年金課
老人保健事務費拠出金事業	保険年金課
高額医療費共同事業拠出金事業	保険年金課
その他共同事業事務費拠出金事業	保険年金課
保険財政共同安定化事業拠出金事業	保険年金課
高額医療費共同事業事務費拠出金事業	保険年金課
保険財政共同安定化事業事務費拠出金事業	保険年金課
人間ドック等助成事業	保険年金課
後期高齢者支援金事業	保険年金課
後期高齢者関係事務費拠出金事業	保険年金課
前期高齢者納付金事業	保険年金課
前期高齢者関係事務費拠出金事業	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	10-02-②	まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	健康・保険
		基本方針	20. 医療保険制度の適正運用
施策名	高齢期の医療制度の周知		

施策の概要

広報活動をいっそう徹底し、被保険者に対して制度の周知・理解と適切な利用促進を図るとともに、保険料の確実な徴収を図ります。

成果指標(単位)	後期高齢者医療保険料収納率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	99.40	99.45	99.50
実績値	99.34	99.51	99.54	99.39

成果指標実績に対するコメント

目標値には届かなかったが、高い保険料収納率となった。

施策の達成度評価

適切に賦課・収納を行うとともに、未納者に対して督促や催告、臨戸訪問によって納付を促したほか、督促前の電話案内により未納の発生予防に努めた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

今後も適切な賦課・収納を行う。未納対策については現行の取組みを継続するとともに、預金調査など、さらなる未納抑制のための取組みを実施する。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

被保険者数が増加傾向にあり、電話や訪問による未納対策や未納対策に困難さが生じてきている。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
後期高齢者医療保険料徴収事務	保険年金課	○	適切に賦課・収納を行った。また、未納者に対して督促や催告、臨戸訪問によって納付を促したほか、督促前の電話案内により未納の発生予防に努めた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
広域連合事務負担金事務	保険年金課
広域連合医療費負担金事務	保険年金課
広域連合審査手数料負担金事務	保険年金課
後期高齢者医療事務	保険年金課
後期高齢者医療保険料管理回収事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	10-02-③	まちづくりの基本方針	「安心」が得られるまちへ
		分野	健康・保険
		基本方針	20. 医療保険制度の適正運用
施策名	福祉医療費の助成		

施策の概要

重度心身障害者、重度心身障害老人、ひとり親家庭などを対象に医療保険適用医療費の自己負担額の一部もしくは全部を助成します。

成果指標(単位)	対象者(心身障害者(児)、重度心身障害老人)1人あたりの年間助成額(千円)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	130	130	130
実績値	128	134	130	132

成果指標実績に対するコメント

多くの制度利用があり、助成対象の方の経済的負担の軽減につながった。

施策の達成度評価

助成対象者数は毎年僅かずつ増加しているが、1人あたりの助成額に大幅な増減はなく、事業の実施状況に大幅な変化はない。基準年である平成25年度と同じ水準で助成対象者の経済的負担の軽減に寄与していると考ええる。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

引き続き、適切に助成事業を進めていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
心身障害者福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行った。
重度心身障害老人等福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
老人福祉医療助成事業	保険年金課
老人福祉医療事務	保険年金課
心身障害者福祉医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療助成事業	保険年金課
精神障害老人精神科通院医療助成事業	保険年金課
精神障害者精神科通院医療事務	保険年金課
父子家庭福祉医療助成事業	保険年金課
ひとり暮らし寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
ひとり暮らし高齢寡婦福祉医療助成事業	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。